

## 様式 4

<p style="text-align: center;"><b>令和 4 年度第 3 回</b></p> <p style="text-align: center;"><b>富士見市図書館協議会</b></p> <p style="text-align: center;"><b>議事録</b></p>						
<b>日 時</b>	令和 4 年 1 2 月 9 日 (金)		開会	午前 1 0 時 3 0 分		
			閉会	午前 1 1 時 5 0 分		
<b>場 所</b>	中央図書館 視聴覚ホール					
<b>出 席 者</b>	委 員	出井委員長	檜山副委員長	伊垣委員	金高委員	木村委員
		○	○	○	○	○
		小森委員	本木委員	野澤委員	野瀬委員	渡邊委員
		○	欠	○	○	○
事務局	<p>○教育委員会生涯学習課 堀副課長 古川主査 加藤主任</p> <p>○図書館 長谷川中央館館長 大里鶴瀬西分館長 下川ふじみ野分館長</p>					
<b>公 開 ・ 非 公 開</b>	公開 (傍聴者なし)					
<b>次 第</b>	<p>1. 開会</p> <p>2. 第 4 次富士見市子ども読書活動推進計画 (案) について</p> <p>3. 各館事業報告 (令和 4 年度 9 ~ 1 0 月) 中央・鶴瀬西・ふじみ野 についての質問、その他 (次回開催日程)</p> <p>4. 閉会</p>					
<b>配 布 資 料</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 富士見市図書館協議会 令和 4 年度 1 2 月定例会次第</li> <li>・ 令和 4 年 9 月 ~ 1 0 月活動報告 (中央図書館・鶴瀬西分館・ふじみ野分館)</li> <li>・ 第 4 次富士見市子ども読書活動推進計画 (案)</li> <li>・ さざなみだより (2 0 2 2 年 1 1 月号 ~ 1 2 月号)</li> <li>・ とびらしんぶん (2 0 2 2 年 1 2 月号)</li> <li>・ BOOK ADVENTURES (2 0 2 2 年 1 1 月号)</li> <li>・ つるせにししんぶん (2 0 2 2 年 1 0 月号 ~ 1 2 月号)</li> <li>・ ぶんちゃんしんぶん (2 0 2 2 年 1 0 月号 ~ 1 2 月号)</li> </ul>					

## 議 事 内 容

長谷川館長

1. 開会  
開会あいさつ

2. 第4次富士見市子ども読書活動推進計画（案）について

生涯学習課

計画について説明

### 第1章 「富士見市子ども読書活動推進計画について」

計画期間は、令和5年度から9年度の5年間にかけて行う。対象は、概ね18歳以下の子どもとその保護者、子どもの読書活動の推進を行う関係者である。

第3次計画の実績としては、基本方針では、セカンドブック事業、子ども読書コンクール、子ども食堂などでの読み聞かせなどがある。基本方針2については、電子図書館の開設、パパママコーナーの整備、中央図書館における託児サービスの開始などがある。アンケートは、令和3年度の富士見市で行ったアンケートを掲載している。

### 第2章 <子どもの読書推進に向けて>

基本方針は、第3次と大きな変更はないが、家庭・地域・図書館の相互連携の言葉を、家庭・地域の部分を市民という表現に変更している。施策体系の表は、第3次ではなかったが、第4次では、表を使って体系図を表している。

数値目標は、第3次とは取り方を少し変えており、市立図書館における子ども一人当たりの児童書貸出冊数は、埼玉県図書館協会による市町村図書館活動調査に基づいて算出している。1ヶ月に1冊も本を読まない児童生徒の割合は、以前は富士見市のアンケート結果で出していたが、第4次では、埼玉県学力・学習状況調査の質問紙調査に基づいて出している。小・中・特別支援学校に対する配本サービスの実施については、以前は無かったが、今現在の実施から全校に広げていこうという目標を挙げている。

### 第3章 <施策の展開>

年齢・発達の段階に応じた読書活動の推進としては、以前は対象が未就学児からだったところを、妊娠期からとし、家庭における読み聞かせの大切さを伝えていこうと考えている。

小学生を対象とした読書活動の推進としては、令和2年度から実施しているセカンドブックの充実や、新規事業として、つるせ台小学校の芝生でのおはなし会などを考えている。

学校では、1人1台端末や大型モニターを活用し、朝読や読み聞かせなど読書活動の充実を目指すことを新規の取り組みとして入れている。中学生や高校生も1人1台端末の部分は同じである。また現在コロナ感染症拡大防止の観点から減っていた職場体験の実施の推

	<p>進、特別支援学級等の生徒による職場体験を今後も続けていく。子どもの読書環境の充実としては、日本語を母語としない児童生徒に配慮し、英語など多言語による館内表示を行うよう努める。学校への配本サービスの拡充、学校への団体貸出なども進めていく。また令和3年から導入された電子図書館の導入については、毎年少しずつコンテンツを増やし充実させていく。学校図書館の電子管理についても検討していく。</p> <p>最後に図書館におけるSDGsの項目も最後に入れている。</p> <p>第4次計画は、全体として図書館と学校の連携に力を入れていくことにより、子どもの読書活動を推進していく計画になっている。</p>
委員長	<p>【第1章 富士見市子ども読書活動推進計画について】の質問ご意はあるか。</p>
委員	<p>「第3次計画の実績の課題 基本方針2」の学校図書館における効率的な蔵書管理は、ネットワークの導入までを考えているか。</p>
生涯学習課	<p>電子化がされていない学校図書館もたくさんあるので、まずは各学校図書館の電子化から始めたいと考えている。</p>
委員	<p>「アンケート結果」の中の結果からみた課題の中で、行かない理由として「図書室が開いていない」、「図書館が遠い」が上げられているが、図書室の開室、時間の拡大は検討していないのか。</p>
生涯学習課	<p>学校図書室の開室は学校によってばらつきがある。やり方も学校の考え方により異なるので、学校に伝えていく。</p>
委員	<p>課題として盛り込むことを検討してほしい。</p>
生涯学習課	<p>学校と相談する。</p>
委員長	<p>要望としては、「計画策定の趣旨」の中で、5年後の達成目標を書いてももらえると良いのではないか。また「計画の位置付け」にある富士見市第6次基本構想や、第3次富士見市教育振興基本計画の内容を資料編として簡単に添付すると良いのではないか。</p>
生涯学習課	<p>検討する。</p>
委員	<p>「アンケート結果」の数値目標の項目だが、不読率を下げ本を読む子を増やしたいのか。文部科学省の中に、学校図書館の3つの機能があるが、富士見市ではここには重点を置かないのか。またこの計画の実行についてどのように検討していくのか。学校図書館の電算化は、便利であるが、それだけでは不読率や活用率は向上しない。</p>

	<p>富士見市の読書活動推進計画のウエイトは、本を読むことが好きな子を増やすことに置かれているということか。</p>
図書館	<p>学校図書館の研修では、学校図書館の3つの機能、読書センター・学習センター・情報センターの3つの機能のことや、学校の蔵書構成のことも確認している。蔵書構成は、リクエストなどによっても少し変わってくる。電算化は学校司書の仕事の効率化につながり、実際に子供に対応する時間も増えるのではないかと思う。市としての計画なので、学校教育課や学校へ図書館からもはたらきかけ、計画推進に深く関わってもらいたいと考えている。</p>
委員長	<p>電算化されている学校が2校と言うことだが、電算化について今後の予定がわかっているのか。</p>
生涯学習課	<p>教育振興基本計画にも書かれているので、今後学校も進めていくと思う。現在予算化はされていない。</p>
委員長	<p>まだ予算化していないということか。</p>
生涯学習課	<p>そうである。</p>
委員	<p>「計画策定の趣旨」は機会提供や充実に努めてきたことを、アピールする部分だと思う。しかし、「数値目標達成状況」の所では、残念ながら目標値に届いていない。また、課題が書かれているが、要因分析の結果がこの課題なのかという点に疑問が残る。</p>
委員	<p>実績に書かれていることは、市としてこのように育てていきたいという要望があり、図書館が行ったという書き方が良いと思う。</p>
委員	<p>ブックスタートの読み聞かせに2名で行った。その際、多くの保護者が1歳過ぎまで子どもに本を読んだ事がないという話を聞いた。コロナ禍で、2-3年ブックスタートで本を読んであげられなかったこともありこの状態を危惧している。</p>
委員	<p>子どものニーズにあった本やコンテンツの充実についても子どもが好きな簡単に読める本だけでいいのかということがある。また隙間時間など手軽に本が読める環境づくりに関しては、ある程度この時間は必ず本を読む時間と決めたら読むのではないかと思う。読書の力を伝えたいのだと、結果からみた課題が弱いと感じる。電算化についても載せることによって検討が始まるというだけでは、きびしいと感じる。なんでも順番に進めていくしかないが、だからこそこの計画は意義深いものにしていかなければならないと考える。</p>

委員	課題を深めていきたいということだろうか。
委員	市のアンケートを見ると、このような課題でも仕方がないと感じる。若い親子に楽しかった読書経験があればまたちがうのではないか。「図書を活用した学習を支援します」とあるが、学校でどのくらい使われているかということ、情報として把握しておいた方が良いと思う。
委員	小・中学校のタブレット活用がはじまり、5年後どのくらい利用が進むのかというところであるが、貸出冊数、電子書籍利用への統計はしっかりとしていかないといけない。乳幼児期の本への親しみは大事。対面して言葉にして、大好きな人の声で聞いて親しんでいく、なくなるとはいけない基礎の所である。しかしその本が好きでも、読書が好きにつながるのかが課題である。また、タブレットだとピンポイントで調べが終わってしまうが、図鑑は他のページにも沢山の情報がありもっと広がっていく。タブレットと紙の両方が必要と感じる。電子と紙の両輪で考えていくことが大切だと思う。
委員長	本をパラパラめくることによる、いったりきたりが大事だと思う。
図書館	脳科学の本を読んだら、親が読む、お母さんが読むということで、言葉を覚えるだけでなく、感情の発達にも役立つとのこと。例えば、ブックスタートの時期を少し早める、妊婦中から本に取り組んでもらうなどが考えられる。またお母さんがお子さんと一緒に図書館に来ることによってお母さんも利用してもらうような取り組みがあると良いと思う。電子と紙は、両方あっていい。脳の活性化につながる研究が出ていると言うので、うまく併用していいと良い。
委員長	本が好きなので、本をネットで買うこともあるが、ぶらぶら見て回る楽しみは、書店や図書館ならではのと思う。どちらが優れているということではないが。
委員	ここにいる人は読書の効用・効果を疑っていないが、推進計画の実行にあたって、市民に広く知ってもらうためには、趣旨のところにあえて記載しても良いのではないか。なぜこの時期に読書が必要とされているかを盛り込んでいないところが、「計画策定の趣旨」があっさりと感じるところではないのだろうか。
委員長	【第2章 子ども読書活動推進に向けて】質問、ご意見はあるか。
委員	<市立図書館における子ども一人あたりの児童貸出冊数>には、中央でいえばYAは含まれるか。

生涯学習課	YAは、分類によって児童書と一般書に混在となる。
委員	<数字目標>について、第3次と数値の方向性を変えた理由は何か。また読み方の違いを説明してほしい。
生涯学習課	<子ども一人あたりの児童書貸出冊数>について、前回は人口全体で貸出数を割ったのでかなり多い人数で割っている。今回は年齢層をしぼって0-15歳の人口で児童書の貸出数を割っている。
委員	フォーカスして効果をとれるようにしているということが狙いであるということであり、お母さんが子どもの分を借りている場合は入っていないということか。
生涯学習課	貸出冊数には含まれるが、算出に使用する人口には保護者の年代は入っていない。
委員	「数値目標」の不読率について、数字の取り方を変えた利用は何か。
生涯学習課	富士見市独自のものよりも、埼玉県の方がとっている調査範囲が広いのでこちらを採用した。埼玉県が調査した富士見市の実績を使っている。
委員	「小・中・特別支援学校に対する配本サービスの実施」で18校と言うことは市内全校を意味していると思うが、電算化や学校司書の待遇改善も踏まえてすすめていくということか。
生涯学習課	実現に向けてどちらが先になるかはわからないが、配本に関しては、生涯学習課で図書館と協議して進められるので数字を出した。
委員	学校司書の待遇改善も考えて18校全校という考えか。仕事が増えるのではないか。
図書館	図書館がセレクトしたものを配本するのでそれほど業務量は増えないと考えている。受け入れ作業はすると思うがチェックは担任でも学校司書でもできる。どちらかというとな図書館の作業が増える。
委員長	同じセットで渡してクラスごとにローテーションという意味か。昔は3セットでローテーションしていた。
図書館	現在配本サービスは、保育所、特別支援学校は年間で行っている。学校は、都度ファックスをもらって貸している。学校からは取りに来るのが大変という事がある。現在図書館から遠い学校へはお試し

	で配本をしている。富士見市は公共配送を実施しているため、併せて学校も回る事を考えている。
委員長	今まで配本が1校だったというのは、需要がなかったということか。
図書館	配本ではない団体貸出については、ファックスで申込、取りに来るといった手続きがネックになっている。
委員	物流の改善によって需要の掘り起こしができるということか。配送によって先生の手間が省け、利用が上がるとみているのか。
図書館	少しは始めていて、関心のある方が使っている。需要はあると思っている。
委員	どのようにシステムの周知を行うかについても考えてもらいたい。校長会や図書主任会などどこかでだれかが伝えてくれるとよい。
図書館	伝える場は有ると思うが、需要が爆発的になると、こちらも大変になってしまうのでバランスもある。貸出返却システムを考えながらまずは届けることをしていきたい。
委員長	同じ本を何冊も買わないといけないのではないか。これは中央図書館の事業と言うことで良いか。
図書館	基本的には中央図書館で対応する。つるせ台小学校は、鶴瀬西分館から届けている。
委員長	【第三章 施策の展開】について質問、ご意見はあるか。
委員	中学生・高校生を対象にした読書活動の推進の「読書に楽しむ機会の充実」の取り組みの中で、富士見市子ども読書コンクールPOPコンクール。なぜこんなに作品が集まっているのかと思ったら、夏の宿題の一つになっているとのこと。とても良い。同様にビブリオバトルやブックトークについても、学校で目にして耳にすることが出来る仕組みが出来ればよい。「学校図書館における図書の電子管理について検討します」この記述だけでは何がどう充実するのか見えてこない。学校教育課の指導主事に意欲があれば変わっていくのだろうか。
委員	今の意見は「市民・学校・図書館などの相互協力と連携体制の確立」の相互協力と連携が今後どうやって発揮されるのかということではないか。

	<p>横のつながりが不足している。市民が今後このように話し合える場所はあるのか。読書は子どもたちが生きていくために人生を豊かにするものであることを皆で伝えていきたい。</p> <p>「セカンドブック事業」の、1年生の1番最初の保護者会でレクチャーしてはどうか。</p> <p>「学校図書館における図書の電子管理について検討します」となっているが、令和8年までに達成できると良い。</p>
図書館	<p>電算化は、ふじみ野小学校、つるせ台小学校はされているが、その後進んでいないと聞いている。表紙のキャッチフレーズのように、皆さんの力も大事である。連携してやれば良いと思っている。</p>
委員	<p>「市民・学校・図書館などの相互協力と連携体制の確立」のところ。市民学芸員・公民館・資料館・人材バンクなども、などに入るかもしれないが、「など」に何が含まれるのかを具体的に示した方がわかりやすいのではないかと。もっと市民全体の表現があればどうか。</p>
委員長	<p>同意見である。市民・学校・図書館の市民は抽象的である。もう少し具体的な表現でもよいのではないかと。</p>
委員	<p>市民とは、子どもにかかるすべての大人と思っている。郷土のデジタル化・社会教育施設での取り組みも入るのではないかと。</p> <p>「子ども向けの事業やボランティア向けの講座の実施」「情報共有や人材育成」とあるが、どういうものなのか。</p>
生涯学習課	<p>読み聞かせ講座などを想定している。</p>
委員	<p>学校での取り組みが充実していき、社会教育施設を使って学習していったらすごいと思った。「特別な支援を必要とする子どもたちへの読書活動の推進」で、目が見えない子どもたちは、どうやって本を探すのだろうかと思った。目が見えない子どもたちへのサービスもできたらいいなと思った。動きだすきっかけになると良いと思った。</p>
委員	<p>幼稚園の立場から何かあるか。</p>
委員	<p>ブックスタートのところで、おかあさんへの取り組みがあると良い。次に図書館へ行くことに、繋がる取り組みが、もう一工夫あると良いと思った。子どもに本を読んであげる事の効果や親子の関係づくりについてうまくアピールできると良い。</p>
委員	<p>幼稚園は配送サービスを使っているか。</p>

委員	今は無い。図書館から遠いので連携はまだない。園でも本は常に貸出しており、本は充実している。
委員	子ども読書活動推進計画は、子どもの読書に親しむ機会の充実と、読書環境の充実であって、図書館の利用促進計画ではない。図書館はきっかけづくりの一部である。図書館利用の促進はいいことではあるが、入口はいろいろあっていいと思う。図書館協議会のメンバーからの意見であるため、今回出た意見が、図書館利用の促進に寄ってしまう所も出てくるのかもしれない。
生涯学習課	この計画のパブリックコメントが、1月16日から2月15日実施予定である。
委員長	他に無ければこの計画の協議を終わります。
委員長	<p><b>3. 各館事業報告（令和4年度9～10月）質問 その他</b></p> <p><b>【中央図書館】</b> ・資料にて報告</p> <p><b>【鶴瀬西分館】</b> ・資料にて報告</p> <p><b>【ふじみ野分館】</b> ・資料にて報告</p> <p><b>【質疑応答】</b> 特になし</p>
委員	特になし
図書館	<p>次回開催について</p> <p>今回は2月24日（金）午前10時から開催する。</p>
委員長	パブリックコメント後、次回協議会で報告を行う。
委員	<p>ビデオクラブ作成の資料紹介。</p> <p>「94歳の青春 塩野仙エ門さん1983年」</p> <p>「勝瀬囃子「武蔵野賛歌1989年」</p> <p>「東武東上線ふじみ野駅開設記念式典1993年」</p> <p>「さらば勝瀬原 最後の抵抗」</p> <p>「史跡とわき水の公園のあるまち 富士見市1994年」</p> <p>「砂川掘りの源流を訪ねて」</p> <p>「空から見た富士見市勝瀬2022年」</p> <p>こちらを機会があれば、いつか上映したい。</p>

委員長

4. 閉会